



公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	アフタースクールクローバーキッズ麻布十番
------	----------------------

公表日 2026年2月21日

利用児童数 40名

回収数 32

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	23	5	1	3		
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	20	7	0	5		児童指導員を加配し、集団療育を基本としつつ、集団になじめない子が、集団になじんでいけるよう、利用児童の特性や必要に応じた個別サポートができる体制になるよう心がけています。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	21	6	1	4		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	23	6	1	2		個室は狭い空間でもありますので、空気の入替等、随時行っていきます。
適切な支援の提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	27	5	0	2		
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	29	3	0	0		
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	28	3	0	1		引き続き、良く観察し、アセスメントを行いつつ、個別支援計画を作成してまいります。
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	27	4	0	1		
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	25	5	0	3		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	30	2	0	0		利用児童の興味や特性に合わせたもの、年間行事での季節感などを取り入れたプログラムを各職員の得意分野を活かし、アイデアを持ち寄り毎月立案しています。
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	9	2	9	16		利用者によっては、地域の学童に通っていたりしている状況があります。地域の方や他の施設と一緒に餅つき大会を行ったりしていますが、今後も慎重に実施してまいります。
保護者への説明等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	24	8	0	0		
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	32	0	0	0		契約時のアセスメントはもとより、半年に1回のモニタリング面談で確認し計画を作成しております。
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	5	4	13	10		今後は、研修会等の内容について、玄関等での掲示を検討してまいります。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状態について共通理解ができていると思いますか。	28	5	0	0		
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	27	2	3	0		
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	29	1	2	0		
18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	6	2	18	6		今後、保護者会の開催、あるいは、支援内容についての背景にある考え方についてどのようにお伝えしていくかは、検討してまいります。	

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	20	4	1	7	
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	25	2	1	4	
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	27	4	1	0	個々の事情や特性に応じた情報伝達に努めています。連絡帳やLINEで不安や不明なことを共有して迅速なやりとりを努めています。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	22	4	0	6	
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	23	3	0	6	随時実施してはいますが、保護者に伝わっていない点がこの評価ととれました。ブログ等で、避難訓練（2カ月に1回の模様）を伝える等、見えるようにしていきます。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	27	2	0	3	
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	30	0	0	2	事業所内での感染症の状況で共有すべきことはLINEの一斉配信で速やかにお知らせして感染拡大防止体制を取って参りました。怪我については、救急車を呼ぶ、保護者に連絡する、救急安心センター事業（#7119）に相談する、マニュアル化された対応策をとっており、ご報告することとしております。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	17	4	1	10	
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	28	4	0	0	
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	27	4	1	0	昨年度と比べ、「どちらともいえない」「分からない」というお声を多く頂きました。こちらは、デジタルに移行した結果、紙媒体ならではの全体の見やすさ、一緒に見れることによって、親子の会話が広がったりということが減っている可能性を感じました。また、小学校高学年になってくると、低学年と同じようなことをやりたくないという子も一部でてくるため、レベルを変えたり、あるいは、教えるような役割を持ってもらったり、先生と一緒に準備に取り組んでもらったりと、より高度なことを担ってもらうことで、生活力を高めていくようなことも狙っていきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	24	4	1	3	送迎時に、コミュニケーションを遮断するかのようには扉を締められたことがあった。おやつに、フルーツ（みかんやバナナ等）が出ると嬉しい。 28番同様、「どちらともいえない」「分からない」というお声を頂きましたので、対策していきます。また、送迎時に不愉快を感じさせてしまったとのこと、誠に申し訳ございません。恐らく、その時のやり取りだけでなく、それまでのやり取りの中で、寄り添っていないと感じられてしまったことが、発端ではないかと推測しております。例えば、サービス提供時間外にLINEの返信をする等は、基本的には実施しないようにするなど、従業員の働きやすさも考慮する必要があると思いますので、全てのご要望に答えられる訳ではございませんが、できる限り、寄り添って一緒に考えていければと存じます。また、おやつの際、ご意見ありがとうございます。フルーツの場合、逆に苦手な子が増えるという一面もございまして、悩ましい部分もございますが、他のお子さんとの兼ね合いを踏まえ、検討してまいります。